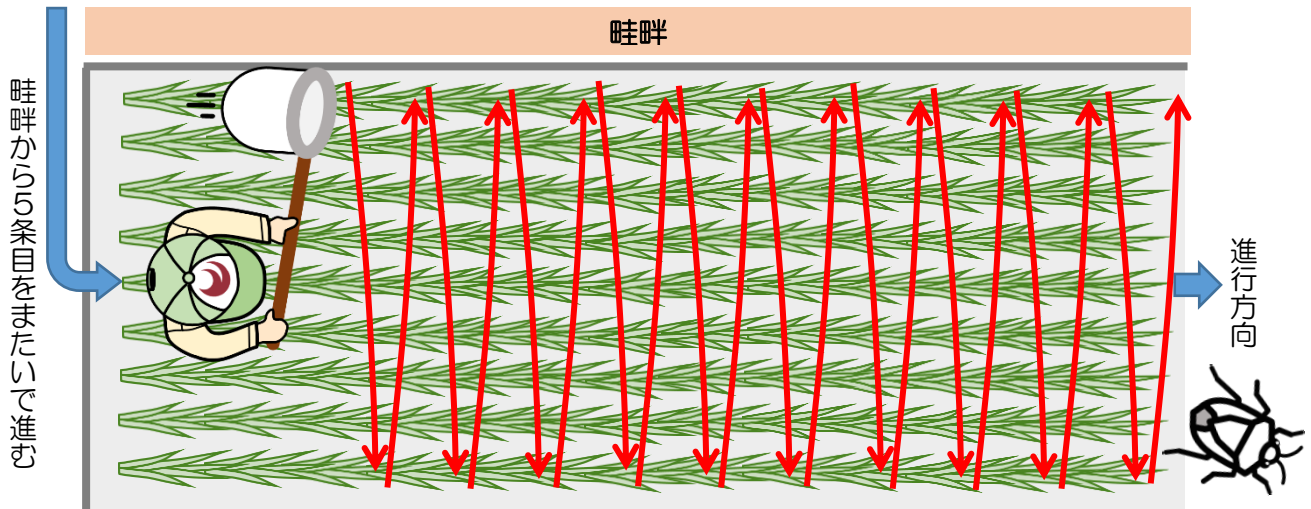


～ 水稻 斑点米カメムシ類の調査方法【すくいとり方法】 ～



●調査方法

捕虫網の柄を、腰の幅程度に両手を開いて、片手を柄の端に持ち、植物体の最上部に網の上端が来る位置で、左右に最大限振りながら、左右合計 20 回振って捕虫します。

カメムシ類は畦畔側から侵入するので、端から 5 条目を中心にまたいで進みながら調査します。



●調査時期

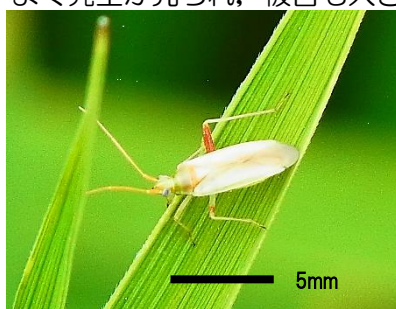
出穂期から穂ぞろい期防除の 7～10 日後（追加防除を判断する時期に行います）

●防除の目安

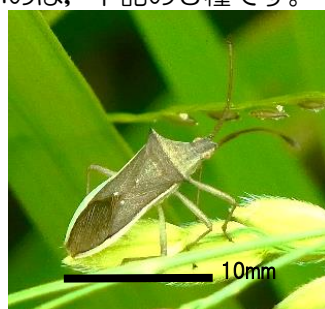
20 回振りすくい取り調査で、カスミカメムシ類が 4 頭以上または、ホソハリカメムシ等の加害種が 2 頭以上見られたときは、1 等米から 2 等米に格落ちするため、防除を行ってください。

区分	種別
カスミカメムシ類	アカスジカスミカメ、アカヒゲミドリカスミカメ、ムギカスミカメなど
その他の加害種	ホソハリカメムシ、クモハリカメムシ、シラホシカメムシ、トゲシラホシカメムシ、ブチヒゲカメムシ、アオクサカメムシ、イネカメムシ、ミナミアオカメムシ、コバネヒョウタンカメムシなど

※ よく発生が見られ、被害も大きいのは、下記の 3 種です。



アカスジカスミカメ



ホソハリカメムシ



クモハリカメムシ